

平成14年度ホタテガイ採苗情報(第5報)

平成14年5月10日
発行:岩手県水産技術センター
協力機関:沿岸地方振興局水産部

「県内各地で、付着稚貝数が増加しています。」

1 ホタテガイ生殖腺指数の推移

5月7日に山田湾で、5月8日に唐丹湾で生殖腺調査を行いました。生殖腺指数の平均値は、両湾とも8%と低い値となり、ほぼ産卵は終了した模様です。

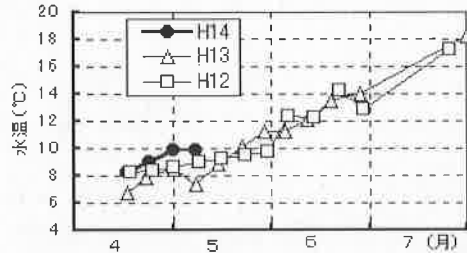


図 唐丹湾における水深10m層水温

2 ラーバの出現状況

5月8日に唐丹湾でラーバ調査を行いました。ホタテガイラーバの出現数は、殻長200μm未満が78個/トン、200μm以上が50個/トンと、前回調査時(合計44個/トン)より増加しました。

なお、調査時の水深10m層の水温は9.9°Cで、前回調査時と同じ値でした。

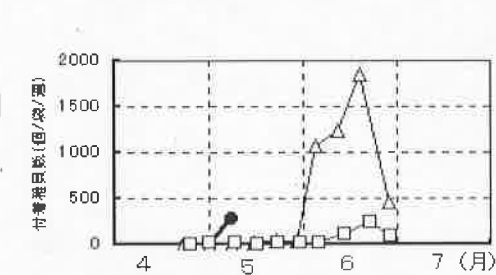
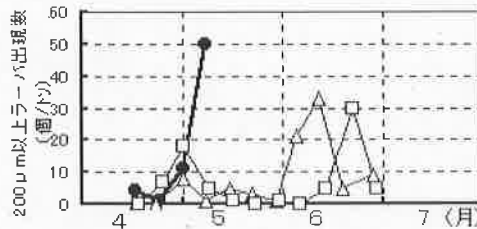


図 ホタテガイラーバ・付着稚貝の出現状況

3 試験採苗器への付着状況

5月7日以降の調査では、全調査地点で付着稚貝が確認されています。付着数は、26~294個/袋と、全ての調査地点で増加しています。

なお、唐丹湾では、そのほとんどが付着直後の個体でした



図 調査地点および付着稚貝調査結果

県内各地で、付着間近の大型のラーバが確認され、付着稚貝数が増加しています。しかも、付着直後の稚貝が多数確認されていることから、稚貝の付着は続いているものと考えられます。

次報は、5月17日頃発行する予定です。